

会議録（１）

会議の名称	令和２年度 第３回 飯能市障害福祉審議会
開催日時	令和２年１２月２３日（水） 開会 午後６時３０分 閉会 午後７時５５分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館 ２階 会議室２・３
会長氏名	曾根 直樹
出席委員	曾根 直樹 窪寺 朋子 桑山 和子 佐藤 智恵美 原 陽一 野田 剛 小島 崇幸 加藤 久子 吉岡 かおる
欠席委員	大森 三起子 角田 健一 岡田 京子 齋藤 みどり 坂本 美津子 樽澤 久美子 神山 秀昭
説明者の職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 町田 守弘 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）山本 賢
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 町田 守弘 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（障害総務担当リーダー）石川 泰伸 障害者福祉課主幹（相談支援担当リーダー）山本 賢 障害者福祉課主幹（つぼみ園副園長）佐藤 昌代 障害者福祉課主査（障害総務担当）福島 明広 障害者福祉課主査（相談支援担当）佐藤 正也 障害者福祉課主任（相談支援担当）岩田 悦宏
飯能市委託事業所	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町 野崎 光子 飯能市すこやか福祉相談センターさかえ町 有賀 りつ子 飯能市すこやか福祉相談センターみなみ町 山口 晋 飯能市すこやか福祉相談センターはちまん町 森田 亜由美 飯能市精神障害者地域活動支援センター希望 萩原 純子 飯能市障害者就労支援センター 蜂須賀 たか子
飯能市障害者支援協議会	相談支援ワーキンググループ リーダー 高野 悟 精神保健福祉ワーキンググループ リーダー 吉田 祐樹 障害児支援ワーキンググループ リーダー 服部 昌夫

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項	
1	開会（午後６時３０分） 障害者福祉課長
2	あいさつ 曾根会長
3	議事 「第６期飯能市障害福祉計画及び第２期飯能市障害児福祉計画（案）」について ・配布資料に基づき、事務局より説明を行い、内容の審議を行った。
4	答申 「第６期飯能市障害福祉計画及び第２期飯能市障害児福祉計画（案）」について ・曾根会長より健康福祉部長兼福祉事務所長へ答申を行った。
5	その他 ・特になし
6	閉会（午後７時５５分） 障害者福祉課長
備考	

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
課長	それでは、議事に入らせていただきます。会長に議長をお願いいたします。
会長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>では、議事の「第6期飯能市障害福祉計画及び第2期飯能市障害児福祉計画（案）」についてを議題といたします。</p> <p>まず、第6期飯能市障害福祉計画の部分について、事務局の説明をお願いいたします。</p>
主幹 (相談支援担当)	(資料により説明)
会長	<p>前回、議論になった点について修正した箇所の説明がありました。</p> <p>最初に、40ページから41ページの「(5) 発達障害者等に対する支援」の修正文章について、ご意見やご質問はございますか。</p>
委員	良いと思います。
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	次に、48ページの「2 障害福祉サービスの確保のために」の修正文章について、ご意見やご質問はございますか。
委員	発達障害等の支援に関しては、児童発達支援センターだけではなく、子どもから大人までを網羅することが大事だと思います。県に相談場所がありますが、市町村にもあれば相談しやすいので、飯能市でそれが実現できればと思います。
会長	修正文章の内容としてはいかがでしょうか。
委員	文章はよろしいと思います。計画に記載されていることをどのように実践していくかが重要だと思いますので、事務局を中心に、ワーキンググル

	<p>ープで検討され、計画が実現されることを望みます。</p>
会長	<p>人材確保の部分ではいかがですか。</p>
委員	<p>障害福祉サービス提供事業所等の人材確保が課題となっていますので、社会福祉協議会と連携を図りながら、本計画の遂行をお願いします。</p>
会長	<p>社会福祉協議会としてはいかがですか。</p>
委員	<p>成年後見人制度の充実という点では、引き続き、社会福祉協議会で行えると思います。</p> <p>強度行動障害に関する人材確保については、市内の専門学校との連携も必要と思います。</p>
会長	<p>社会福祉協議会や市内の専門学校と連携を図りながらというように、文章を修正した方がよろしいでしょうか。事務局は、いかがですか。</p>
課長	<p>事務局としては、学校側の意向もございますので修正せず、事業を実施する上で、学校側との連携を図ってまいりたいと考えますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>良いと思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>8050問題と引きこもりの部分で、どのように組織化し、どこが中核となるかが重要で、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーが関わるのが重要と思います。</p>
委員	<p>社会福祉協議会との連携は重要ですが、市の関係課もしっかりと相談を受け止める体制の構築をお願いします。</p>
会長	<p>社会福祉協議会との連携を追記することでよろしいですか。</p>
主幹 (相談支援担当)	<p>では、そのように追記した文章を読み上げます。</p> <p>「引きこもりの人への支援については、相談窓口として、地域・生活福祉課、健康づくり支援課（保健センター）など庁内各課及び社会福祉協議会等の関係機関と連携し相談支援を実施します。8050問題については、引き続き、地域包括支援センターや相談支援事業所、社会福祉協議会等の関</p>

	係機関との連携により、世帯全体の課題の解決を図ります。」と修正いたしました。
会長	事務局の修正文章について、ご意見やご質問はございますか。 (なし)
会長	他にご意見やご質問はございますか。 (なし)
会長	次に、第2期飯能市障害児福祉計画の部分について、事務局の説明をお願いいたします。
主幹 (相談支援担当)	(資料により説明)
会長	「(3) 障害児の子ども・子育て支援等」の見込みとは、障害児の保育所等への受け入れ見込みですか。
主幹 (相談支援担当)	そのとおりです。
会長	他にご意見やご質問はございますか。
委員	現時点で、保育所等での障害児の利用は、どの程度なのでしょう。
主幹 (相談支援担当)	令和2年度の受け入れ状況ですが、保育所37人、認定こども園0人、放課後児童健全育成事業37人、幼稚園2人、特定地域型保育事業並びに認可外保育事業については、データはございません。
委員	非現実的な高い目標値ではないと思います。実績から3人程度の増加で見込んだということだと思います。
会長	思った以上に障害児が、保育所や放課後児童健全育成事業を利用されていると感じました。
委員	飯能市は、低年齢児から受け入れをいただいています。

会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>もう少し時間がございますので、第6期飯能市障害福祉計画の部分も含めて、ご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>48ページの精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの記載で、住居の確保があります。法人から出た意見ですが、年末年始や夏休みなどの長期に通所ができない期間に、落ち着いて過ごせる場所、特に夜間に安心して過ごせる場所、宿泊できる場所が確保できればという意見がありました。</p>
会長	<p>ご利用者の意見ですか。</p>
委員	<p>職員の意見です。利用者の方が、どの程度その意見をお持ちかどうかは把握していません。</p>
委員	<p>精神障害者の立場から考えますと、年末年始などは環境が変わるので、不安になることがあり得ると思います。</p> <p>また、夜間に1人である場合については、年末年始などに関係なく、不安になることがあり得ると思います。</p>
会長	<p>不安になったときには、ショートステイなどを利用できれば安心できますか。</p>
委員	<p>仲間がいるので、安心できると思います。</p>
委員	<p>当会の訪問看護ステーションの利用者の方の中にも、夜間に不安になってしまい、お電話をいただく場合が多々あり、看護師が丁寧に対応し、不安を解消している状況です。</p>
会長	<p>市内で、そのような時にショートステイができる場所はありますか。</p>
委員	<p>精神に障害のある方がショートステイできる場所は、聞いたことがありません。</p> <p>夜間に不安になってしまい、訪問看護ステーションの看護師に電話をしたという話はよく聞きます。</p>

会長	<p>東松山市で精神障害の方の地域生活支援センターの仕事をしていた時には、昼間に地域生活支援センターに集まって過ごしたいという方は大勢いらっしゃいましたが、夜間に不安になってショートステイを利用したいというニーズは伺ったことがありませんでした。ただ、24時間の相談窓口を実施していましたので、夜間に不安になって電話をされる方は多かったです。</p> <p>夜間は、自宅で寝ることの方が安心できるものと思っておりましたが、ショートステイができる場所があった方が良くとお考えですか。</p>
委員	<p>それは、人によると思います。話すとお安心する方もいらっしゃるでしょうし、誰かと一緒にいないと不安だという方もいらっしゃると思います。</p>
会長	<p>法人でご意見が出たとのことですが、地域生活支援拠点のショートステイなどは、それに該当する社会資源になり得ると思われます。</p> <p>計画に記載するのであれば、施策に結びつく内容が必要と思いますが、具体的な場所の提案などはございますか。</p>
委員	<p>計画に記載をしていただきたいということではなく、報告です。今後、協議会等で話し合いができればと考えています。</p>
会長	<p>地域生活支援拠点の整備を進めるにあたっては、ショートステイの機能が必須なので、不安に対応する臨時的な支援場所として活用していくことができると思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>計画には、発達障害に対する支援について、「幼少期から関わる支援機関、教育関係機関、就労支援機関と連携し」と書かれています。これまでは実施したことがありませんので、大変有意義なことと思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>今後、精神障害者への支援においては、訪問看護ステーションなどの医療機関との連携が重要になると思います。障害福祉サービス提供事業所と医療機関との連携は、大きな力になると思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>「障害児の子ども・子育て支援等」では、発達障害の啓発として、当事者</p>

主幹 (相談支援担当)	<p>の保護者だけでなく、他の保護者も含めて皆が学べる場が必要と思います。</p> <p>先ほどの委員のご意見を踏まえまして、計画に記載する文章を修正したいと思います。読み上げますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>48ページの1番下の丸でございます。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築についての段の3行目、またの次に、「医療機関や訪問看護ステーションなど地域医療との連携、住居の確保、指定一般相談支援事業所の設置に向け」という形で医療機関との連携について追記いたしました。</p>
会長	<p>今の追記について、ご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>3点ほどあります。1点目は、地域の医療機関と障害福祉サービス提供事業所との相互連携です。医療機関も、患者の地域移行に関しては大変難しい状況で、地域の障害福祉サービス提供事業所と協力ができればと考えております。</p> <p>2点目は、年末年始などの長期休業中や夜間の障害者の支援についてです。長期休業中や夜間に不安になる方は、特に退院直後の方に多く見受けられます。地域移行、地域定着を進める上で非常に重要で、最初のつまづきをどのように取り除くかが重要と思います。医療機関としては、かなり業務的に厳しい状況となっています。</p> <p>3点目は、今後の検討課題についてです。1つは、外国の方やそのお子さんに対してのサポートです。病院には、外国籍の方が多数来院していますが、受けられる地域サービスは皆無の状態で、長期入院も経済的理由からできない状況となりますので、今後更に問題になると思います。次に、障害者の就労についてです。コロナ禍で在宅ワークやリモートワークが行われるようになりましたが、在宅での支援が適する方もいらっしゃいますので、そのような方たちにどのようなサービスをお届けしたら良いのか考えていく必要があると思います。以上、提言というわけではございませんが、現場を見ている意見です。</p>
委員	<p>ただいまのご意見の中で、地域と医療機関との相互連携の話がありましたが、医療機関から地域に対してどのようなことを望まれますか。</p>
委員	<p>具体的には、障害福祉サービス提供事業所の空き状況が簡単に検索でき</p>

	<p>るシステムができれば、医療機関のソーシャルワーカーなどはサービス調整の際に大変助かると思います。次期の障害者計画の中で検討されれば良いと思います。</p>
委員	<p>障害福祉サービス提供事業所でも、医療機関との連携を深めたいと思っています。</p>
会長	<p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場において、お互いに意見交換や情報交換ができればと思います。</p> <p>ICTを活用したシステムについては、事業所が協力して空き状況を更新し続けなくてはならないので大変とは思いますが、皆が意識をあわせて進められる土台ができればと思います。</p> <p>外国籍の方の問題は、医療機関だけではなく、市役所や学校などでもあると思います。障害福祉計画だけの問題ではないと思いますが、何かそれに該当するような対応というのはありますか。</p>
課長	<p>市役所では、通訳の問題がありますが、県の外国人ヘルプデスクという電話の通訳サービスを利用しています。また、本市では、遠隔手話のタブレットの中に外国語の翻訳アプリも入れてありますので、それも利用しています。</p>
委員	<p>国際交流協会やボランティア団体などが、日本語教室を開いたり、外国籍の方への支援を行っているとは伺っています。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>実際の障害福祉サービス制度の運用において、利用したい時に利用できないという現実があります。障害者が不安定になった時は、大変苦しい状況で、すぐにもサービスを利用したいと思っています。制度の適用をもっと緩やかにしていただきたいというのが意見です。</p>
会長	<p>個別の支援に関する内容ですので、後ほど事務局と相談いただければと思います。</p>
主幹 (相談支援担当)	<p>後ほどお話を伺いたと思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>

委員	<p>数値目標では見えてこない関係機関との連携や相互協力などは、障害者の支援において大変重要であり、上手に活用し、その活用方法を通常な形にできればと思います。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>40ページのペアレントトレーニングやペアレントメンターの表記については、分かりやすい表記をお願いします。</p>
課長	<p>分かりやすくなるよう、用語集に説明を追記いたします。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>では、ないようですので、以上の内容で、審議会として答申をさせていただくことといたします。</p> <p>これを持ちまして、議長の任を降ろさせていただきます。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p>	
<p>令和 年 月 日</p>	
<p>議長の署名</p>	